

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
中国事情 Chinese Circumstances		2年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	講義	選択 ()		特になし
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
特になし				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
特になし				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
陳順和	本館3F	水曜16:00～・金曜8:30～18:00 (授業時間を除く)		授業中に指示します
授業の概要				
<ol style="list-style-type: none"> 1. 中国をより明確にするために、中国の現状を説明する。 2. 主として、中国の経済発展、中国人の生活スタイルの変化、中国ビジネスの可能性などを解説する。 3. プリントのほかに、ビデオ・新聞記事・担当教員の中国旅行の見聞・写真も多用する。 4. 中国経済に関する書籍も多く紹介する 				
授業の目標				
<ol style="list-style-type: none"> 1. 中国の本当の政治・経済・社会、生活の現況を確認し、中国についての考え方が正しいかどうかを区別することができるようにする。 2. マスコミが伝えてきた中国のニュースについての真偽を判断でき、中国の素晴らしさを発見し、中国に積極的に触れることができるようにする。 3. 中国の経済発展と自分の将来との関わりをよく検証し、中国語をさらに学び、活用することができるようにする。 4. 日本の現況と新興国（中国・韓国・台湾・インド…など）の発展ぶりをよく検討し、危機感と使命感を興こし、行動することができるようにする。 5. 自分の将来について、国際的な視野で物事を考え、自分の人生のビジョンを描くことができるようにする。 				
授業の方法				
プリントに沿って講義する。ビデオ・新聞記事・旅行見聞・写真を併用し、グループディスカッション等も取り入れる。				
学習の成果（学習成果）				
中国の政治、社会、経済、文化、生活について正しい知識を得て、説明することができる。中国に関する情報の真偽について判断することができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	受講生が中国に対するもっているイメージとはどのようなものか			
第2回目	中国の社会と自然：中国には無数の顔がある、少数民族、世界遺産			
第3回目	中国の国家と政治：社会主義、資本主義、一党独裁、人治、法治、一国二制度、「創新」型国家			
第4回目	中国の都市と地方の暮らし：「小区」、「小康」社会、男女平等、「三農」問題、「農民工」			
第5回目	中国の歴史：中華帝国、中華民国、中華人民共和国、改革開放、中国と台湾、蒋介石と毛沢東			
第6回目	中国の文化：詩経、易経、大学、中庸、孔子、孟子、老子、荘子、諸子百家、仏教、道教、文学、史学、科学			

第7回目	中国の文化：科学技術、数学、医学、絵画、書法、音楽、陶磁、三国志、西遊記、朱子学、北京故宮、台北故宮
第8回目	中国経済：計画経済、社会主義市場経済、経済特区、国営企業、私営企業、外資企業、郷鎮企業 <レポート提出>
第9回目	中国の経済：WTO、オリンピック、上海万博、西部大開発、東北振興、中部崛起、南水北調、西電東送、西気東輸
第10回目	中国の経済：貿易総額、貿易黒字、外貨準備高、GDP、環境問題、中国脅威論
第11回目	中国のビジネス環境：中国進出、経営の型、欧米企業、日本企業、消費、インフラ整備、世界の工場、世界の市場
第12回目	中国のビジネス環境：人脈、面子、給与、賞罰金、土地使用権、契約、株式市場、人民幣
第13回目	中国のビジネス環境：華僑華人の中国ビジネス、台湾企業の中国投資、チャイナリスクへの対応、差異を知る
第14回目	世界の中の中国：中米、中露、中印、中日、中韓、中国と東南アジア・中亜・中南米・ヨーロッパ、華僑、華人 <レポート提出>
第15回目	総括：自由談義、討論、中国語でビジネスをする可能性

成績評価の方法と基準

評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	20%	自分の意見を進んで発表をする。課題を読んで十分に準備をして臨んでいる。
レポート	80%	授業によってレポートを作成する。中国についての知識レベルが高ければ80点（詳細に課題を探求し、着手すべきテーマの問題点及びその複雑さに十分に注意を払っていること。学習の成果が十分に示されていること）。
調査報告書		
小テスト		
試験		
発表内容（態度含む）		
その他		

教科書と参考図書

プリントを配布し、参考図書を紹介する。

履修上の留意点・ルール

欠席・遅刻をしないこと、授業で居眠りなどが無いこと、きちんとしたレポートを書くこと。